北海道大学総合博物館
常設展

7/26
リニューアルオープン

UBRJ
Eurasia Unit for Border Research (Japan)

BORDER TOURISM

主催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 境界研究ユニット（UBRJ）

閉ざされた空間で生み出す
境界を越えて向こう側と繋がる
ボーダーツーリズムの様々な
かたちと可能性を考える

TSUSHIMA
長崎県対馬市

WAKKANAI
北海道稚内市

SAKHALIN
樺太

PHOTO EXHIBITION
サハリン／樺太国境紀行写真展Ⅱ

＊入場無料

会場：北海道大学総合博物館２階　スラブ・ユーラシア研究センター UBRJ ブース
会期：2016 年 7 月 26 日（火）より　　＊月曜休館（祝日の場合は翌日休館）、臨時休館あり
時間：9：30 ～ 16：30　11 月以降は 10：00 ～ 16：00

協　力
稚内市　対馬市　北海道大学総合博物館　境界地域研究ネットワーク JAPAN（JIBSN）
特定非営利活動法人国境地域研究センター（JCBS）　人間文化研究機構北東アジア地域研究北大スラ研拠点
ウェザーコック（株）

写真　旧王子製紙大泊工場遠景

BORDER TOURISM の様々なかたちと可能性を考える

PHOTO EXHIBITION サハリン／樺太 国境紀行写真展Ⅱ

ノシャップ岬灯台とモネロン島を望む

稚内在住のカメラマン、斉藤マサヨシが撮影したサハリン／樺太の貴重な写真を数多く展示しています。2016年4月に札幌紀伊國屋書店で開催された国境紀行写真展の続編です。

本ブースではスラブ・ユーラシア研究センターの境界研究ユニット（UBRJ）によるボーダースタディーズ（境界研究）の成果展示を行っています。北海道大学総合博物館のリニューアルオープンに伴い、ボーダーツーリズム（国境観光）企画の第２弾として、日本の西と北の境界地域をフィーチャーします。

国境やボーダーには紛争、緊張といった暗いイメージがつきまといますが、国境のもつおもしろさやダイナミズムを多くの方々に共有していただくのが本展示の狙いです。またユニットでは旅行会社とのコラボを通じて、これまで稚内・サハリン、福岡／対馬・釜山、沖縄八重山・台湾といった国境越えのツアーを支援してきました。今後も中露国境、道東オホーツク、小笠原紀行など様々なボーダーに関わる観光事業を企画していきます。みなさまとご一緒に国境地域を旅するご縁を楽しみにしています。

岩下 明裕（UBRJ代表）

TSUSHIMA 長崎県対馬市

賑わう対馬・比田勝フェリーターミナル待合所

西の国境地域、対馬から釜山へ。

隣国との境界が全て画定し、もっとも安定した国境地域である対馬で、ボーダーツーリズム（国境観光）が始まりました。今や八重山―台湾、稚内―サハリンといった日本の他の国境地域の観光モデルとまで評価されるに至りました。対馬には、すでに韓国から多くの観光客がやって来ますが、日本人観光客の誘致が差し迫った課題です。

また、対馬沖は日露戦争の激戦地であると同時に、日露友好のエピソードが残る土地です。今、日露間で待望されているビザ免除協定。実現すれば、対岸の釜山で暮らす数多くのロシア人を観光客として誘致するビジョンも見えつつあります。

WAKKANAI 北海道稚内市

北緯 50 度に残る国境標石台座跡

北の国境地域、稚内からサハリンへ。

2016年7月に刊行された、ブックレットボーダーズ第三弾『稚内・北航路――サハリンへのゲートウェイ』（北海道大学出版会刊行）の内容を中心としたパネル展示を行っています。ブックレットの素材となったモニターツアーでは、稚内で歴史を学んだ後、サハリンへ向かいました。コルサコフ（旧大泊）、ユジノサハリンスク（旧豊原）など日本の匂いの残る土地を巡り、北緯50度線、かつての国境を目指します。

今と昔、二つの国境を渡る旅。北緯50度線の国境は今は存在しませんが、人々の記憶には確かに残っています。

SAKHALIN 樺太（1905-1945）

トナカイそりの輸送

写真　稚内市教育委員会所蔵

1905年、日露戦争に勝利した日本はポーツマス条約により北緯50度以南の樺太を領有しました。国境には国境標石４基、中間標石17基、木標19基が設置されただけでなく、幅10mで森林が伐採され、東西約133Kmに及ぶ文字通りの国境線が引かれました。

北辺の陸の国境は、多くの作家・詩人のあこがれの地でもありました。大正～昭和初期の旅行記などから、当時、境界線を目の当たりにした人々が何を感じ、何を考えたのか、パネルで紹介しています。

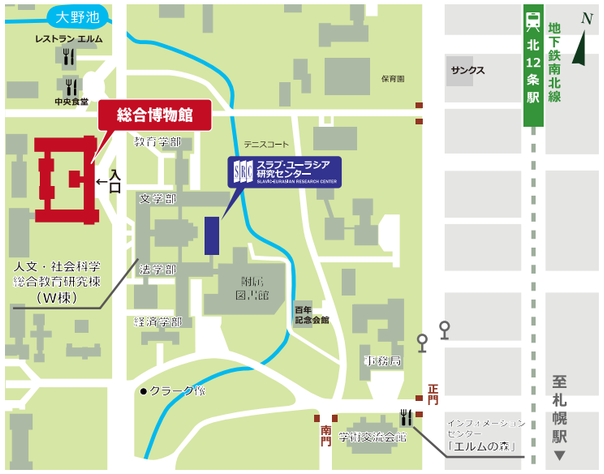
現在の日本の国境線はすべて海上にあり、目には見えません。展示を通して国境や境界の存在を感じ、考えを巡らせるきっかけとなれば幸いです。

ACCESS
アクセス

北海道大学総合博物館２階
スラブ・ユーラシア研究センターUBRJブース
札幌市北区北10条西8丁目（北海道大学キャンパス内）
電話 011-706-2658　http: //www.museum.hokudai.ac.jp/

CONTACT
お問い合わせ

SRC
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
北海道札幌市北区北9条西7丁目
TEL：011-706-2388　FAX：011-706-4952

UBRJ
Eurasia Unit for Border Research (Japan)

最新情報はホームページをご覧ください
https://src-h.slav.hokudai.ac.jp/ubrj/